

お困りごと整理シート（熱分解ガスクロマトグラフ質量分析装置用）

1. 得られたデータで何を主張されたいですか（仮説を立てましょう）。

○定性分析（試料の成分は、大体こんな感じ）

○定量分析（特定の成分は、試料にこれだけ含まれている）

※標準品が必要になります。

○比較分析（試料 A と B はここが違う）

2. 試料の形状はどうですか。

○固体（何 g 程度ありますか。数 mg あれば分析可能です。）

○液体（粘りはありますか。主な溶媒は何ですか。他の成分の濃度は推定できますか。）

○気体（体積はどの程度ありますか。）

3. 分析条件を決定するために

○樹脂に含まれる添加剤の分析ですか（酸化防止剤、滑剤などの添加剤の分析）

○樹脂そのものの分析ですか（ナイロンの種類を知りたい、樹脂の種類を知りたい）

※場合によっては、分析時間の短い赤外分光法をご提案いたします。

○ターゲット成分は決まっていますか。化学構造を特定できますか。

例）フタル酸エステルの一種である DBP（ジブチルフタレート）

○ターゲット成分の沸点はどの程度ですか。

沸点 270°C を超えるような成分ですと、液体クロマトグラフの方がよいです。